



三輪の結 大門っ子の本気

令和8年9月25日

※ホームページにも掲載しています

ふるさととは命に満ちる ～ふるさと学習を通して豊かな心の育成

本校の校歌は、昨年お亡くなりになられた作家の曾野綾子さんによる作詞で、「ふるさととは命に満ちる」という題名がついています。この校歌にあるように校区内には、豊かな自然がたくさんあり、子供たちが伝統的に体験を通じたふるさと学習で命の大切さを学んでいます。このことが、自分のことも相手のことも大切にする豊かな心の育成につながることを願っています。

4年生 鴨川探検

4年生は、9月17日悪天候や水位上昇により延期になっていた鴨川探検をようやく行うことができました。浅井地区を流れる鴨川は、川底から地下水が湧いているために水温が低く、絶滅危惧種のトミヨやバイカモといった貴重な生物が生息しています。子供たちは、歓声を上げながら熱中して生き物を探しました。鴨川の自然が、多くの命を育んでいることを体感し、この体験を学習の発表会での発表に生かします。



5年生 稲刈り体験

5年生は、9月18日、快晴の下、二口営農とJAいみず野の皆さんの指導で稲刈りを行いました。5月に田植えをした稲穂が実り、収穫の時期を迎えました。子供たちは、暑い日差しの中、稲の株を根元から鎌で刈り、一生懸命コンバインに運びました。田植えと稲刈りを体験することで、先人の作業の大変さと、日本の食を支える農業の大切さを学びました。



本チャレな学習発表会に向けて



10月10日(土)の学習の発表会に向けて、各学年、練習に取り組んでいます。子供たちがつくった今年のスローガンは、「みんなが主役!! ～本チャレで一人一人がかがやく大門小～」です。体育館のステージで堂々と表現し、輝けるようにご家庭でも応援をよろしくお願いします。

PTA 親子活動 鴨川観察会

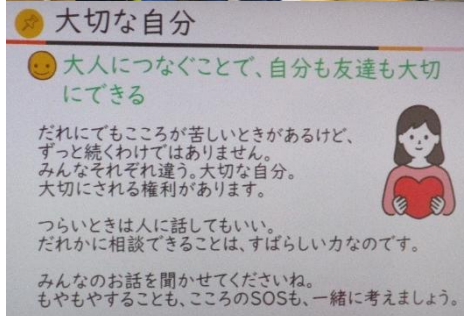
例年、PTAでは学校のビオトープで観察会を行っていますが、今年度は鴨川で観察会を行いました。活動に先立って、PTA委員の皆さんに、子供たちが安全に川に入れるように清掃活動を行っていただきました。

その後の活動では、ビオトープアドバイザーの指導の下、トミヨやスナヤツメ、ウグイやアユが観察できました。子供たちと一緒に川に入ったお父さんやお母さんたちも童心に帰り、生き物を捕まえていました。たくさんとれた厄介者のザリガニは、30年ほど前にはいなかったそうです。



SOS の出し方について学習

県教育委員会が県内のすべての小中学校で推進している「SOSの出し方教育」を、5、6年生の各学級で行いました。スクールカウンセラーと学級担任が連携し、心の様子を天気（晴れ、曇り、雨、雷等）で表し、友達同士でも、困っている友達にどのように声をかけたらよいか、かけてもらったらしいかについてグループワークで話し合いました。そして、いやなことやつらいこと、困ったことがあったら抱え込まず、友達や身近な大人、相談機関等に相談することについて学習を深めました。



関わり合って、分かる・できる楽しい授業づくり

学校外から多くの先生方が参観に来られる研究授業を行いました。

1年3組では図画工作科、スタンプの造形遊びを、県内の保育園・幼稚園の先生方が参観し、幼・保・小連携について研修を深められました。1年1組では、音楽科「ドレミのキャンディー」に合った動きや歌い方を工夫する授業、3年1組では、体育科（保健領域）で、養護教諭も加わって、「体の清潔を保つために自分ができること」について考えていました。たくさんのお客さんが授業を見に来られても、子供たちはいつもと変わらない様子で、関わり合い、学び合っていました。物怖じしない子供たちです。

